

ミャンマーにおけるワークショップへの参画

半田 真
(第三技術部長)

2012年2月27日～28日にミャンマーコンピュータ科学開発評議会(MCSDC)、ミャンマーコンピュータ連盟(MCF)主催による「ICTを活用した包括的社会経済開発と貧困削減の全国ワークショップ」(National Workshop on “ICT for Inclusive Socio-Economic Development & Poverty Reduction”)がミャンマー連邦共和国首都のネーピードーで開催され、海外からの講演者によるパネルセッションに JTEC が招聘され、参画しました。



このパネルセッション第一部はミャンマーコンピュータ科学開発評議会会長でもあるウ・テイン・トゥン通信・郵便・電信大臣の基調講演、ミャンマーコンピュータ連盟ウ・テイン・ウー会長のワークショップの目的と進め方の提言に引き続き行われたもので、「清廉な政府と良き統治の推進」(Promoting Clean Government and Good Governance)と題され、JTEC もシンガポール、インド、マレーシア、韓国、世界銀行からの講演者とともに ICT がどのように社会経済開発のために活用できるかについて、またミャンマー連邦共和国が今後 ICT を活用して社会経済開発を進める上で参考となる日本における電子政府・電子行政の現状や政策、制度、過去からの教訓などを紹介しました。

引き続きパネルセッション第二部においてはミャンマー連邦共和国における現在の状況を再認識するために ICT インフラの現状についてミャンマー郵電公社と民間資本の合併の新興キャリアであるヤタナーポンテレポートからの講演、教育分野への利用についての講演と議論、翌日は農業・農村開発、サービス産業、貿易通商分野、IT 開発分野に分かれての並行セッションに引き続きワークショップで議論されたインフラ開発、電子政府・電子行政の推進、各産業分野での活用について政府への提言をまとめ、今後開催される政府が主催する全国フォーラムに反映させて行く事が確認され、ウ・テイン・トゥン通信・郵便・電信大臣の総括で締めくくられました。

本ワークショップへの参画を通してミャンマー連邦共和国の民主化の方向の揺ぎ無さを実感することができ、今後拡大が予想されるミャンマー連邦共和国への国際協力に JTEC も貢献できるよう努力して参ります。

最後になりましたが本ワークショップへの参画にご尽力いただいた独立行政法人 国際協力機構 ミャンマー事務所の皆様に感謝いたします。

ワークショップ公式ホームページ <http://www.ictworkshop.gov.mm/>